

中越地震被災地に観光客誘致を

5月14日7時8分



9年前の新潟県中越地震で大きな被害を受けた地域について新潟県は、復興の歩みや地域の魅力を紹介するパンフレットを作成し、観光客の誘致を進めることになりました。

新潟県長岡地域振興局は来年で、中越地震から10年となるのを前に、地震で大きな被害を受けた地域の復興の歩みや、地域の魅力を紹介するパンフレットを作成しました。

「ふるさとやまあい」と名付けられたパンフレットには長岡市の山古志地域や小千谷市の東山地区など、山あいの地域に広がる棚田などの風景などが紹介されています。また、国の重要無形民俗文化財に指定されている山古志地域の「牛の角突き」が地震のあと一時中断し、存続の危機にさらされたものの、伝統を守りたいという住民たちの思いが実り3年後に再開させたことなど、地域の復興の歩みについても記されています。

パンフレットは1万部作成され、長岡市役所や東京・表参道の新潟県のアンテナショップなどで無料で配布されるということです。

新潟県長岡地域振興局は「山あいの地域には、日本の原風景が残っている。多くの人に足を運んでほしい」と話しています。